

千葉商科大学大学院 商学研究科

中小企業経営管理コース

中小企業診断士登録養成課程



Management
Business Support
Finance
Analysis
Technology
Marketing

時代が求める中小企業診断士を養成

2024年度より中小企業診断士登録養成課程を
新コースとしてリニューアル

Top Message



千葉商科大学学長
原科 幸彦

時代が求める中小企業サポートの プロフェッショナルを養成する。

千葉商科大学は、1928年に創設されこれまで90年以上、実学教育の精神を誠実に守り続け、日本のビジネス界を支える有為な人材の育成に大きな成果をあげてきました。そして、激しい時代環境の変化とそれに伴う実業界の変化に応じて、常に先進的な取り組みを行っております。

今日の世界的な社会経済の大変動の中で、大きく求められていることは、高度化・多様化・国際化が進む日本の経済活動の中核・原動力である中小企業が持続可能な形で発展するシステムの構築です。

このような社会的ニーズに応え、日本の経済社会の発展に寄与するべく、本学では、これまでの伝統と本学の持つ多様なリソースを集結し、大学院修士課程商学研究科に「千葉商科大学大学院 中小企業診断士登録養成課程」を設置し、中小企業の側に立った総合的な経営戦略、財務管理などの経営診断及びコンサルティング業務を担う中小企業診断士の養成を行っております。また、実践的で高度な知識教養を要する彼らの資質向上のために不断の再教育に積極的に取り組んでおります。

本大学院では、有為有能なプロの経営コンサルタントを養成し、本人のキャリアアップに資すると同時に経済界の発展に確かな貢献を果たしてまいります。



中小企業診断士登録養成課程
委員長

長谷川 博

ご挨拶

千葉商科大学では、2010年3月に中小企業診断士登録養成機関として中小企業診断士登録養成課程を開設いたしました。開設以来、160名を超える中小企業診断士を社会に送り出しています。

2024年度より、これまでの「中小企業診断士養成プログラム」を改編して、「中小企業経営管理コース」としてリニューアルしました。土日開講による通学や履修の利便性、第一線で活躍している実務家教員陣等、特色ある教育内容をより強固にし、これまで以上に社会的期待に応えていく所存です。本登録養成課程では中小企業支援を中心とする高度職業人の養成を通して、ミクロとマクロがリンクした世界における地域経済の発展に益々と寄与します。

時代とは課題的存在であり、時代の特有課題とは世界観的課題であると言われる。これまでに解決してきた課題というのは、その時代に負われた特有課題なのです。よって、過去が残した課題を引き受けるだけでなく、世界同時化・多国間発達化したもはや現代後期と言われる時代以後の特有課題に我々は直面せざるをえません。

そこで、新たな解決をも要するという意識が媒介していることが大切です。この特有課題の核心を認識している者が、これまでをひたすらに延長するのではなく時代をリードしていくのです。

これからの中小企業診断士として皆さんが実現していくことを期待しています。

理念と理想

本学では、2010年3月、大学院修士課程で
中小企業診断士登録養成課程を開設し、
これまで多くの中小企業診断士を社会に送り出してきました。
2024年4月より中小企業経営管理コースとして、
これまで以上に専門性を高め、これからの時代が求める
中小企業診断士を養成します。

養成する中小企業診断士像

01

強い会計力のあるコンサルティング力

千葉商科大学の伝統を活かした「会計、税務、金融及び財務等の幅広い知識を有し、
内部統制、コンプライアンスに長けた強い会計力」を持つコンサルティング力を育成します。

02

人間的魅力溢れる強いコミュニケーション能力と 強い人材育成力を併せ持つコンサルティング力

中小企業診断士に最も必要とされる能力は、企業経営者が何を求めているのか傾聴し、
その求めているものを実践に移す能力です。分析力のみならず、相手に心を砕き、
親身になって改善点等を適切に提案できる豊かな人間性とコミュニケーション能力を育み、
経営者の心強いパートナーとなり得る強いコンサルティング力を育成するとともに、
今後の中小企業に必要とされる企業活動を支える技術・技能を継承する人材、企業活動の情報化、
グローバル化及びコンプライアンスに対応できる人材を育成する能力です。
豊かな人間性とコミュニケーション能力を活かし相乗的に人材育成及び
キャリア形成に強いコンサルティング力を育成します。

CUCが 選ばれる 理由

01

千葉県で唯一の 登録養成機関

2010年に中小企業診断士登録養成課程を開設以来、160名以上の中小企業診断士を輩出し、本学出身の診断士が各方面で活躍されています。

02

働きながら学べる 土、日中心の授業展開

土曜日、日曜日を中心としたカリキュラム設定で仕事との両立が可能です。(製造業実習中心に、一部平日実施)

03

修士学位を 同時に取得

本登録養成課程の授業カリキュラムは、大学院商学研究科のカリキュラムと連動しており、修了時には国家資格である「中小企業診断士」の登録資格と「修士(経営管理)」の学位が同時に取得できます。

04

本学独自の オリジナル科目

省令で定められた必修科目に加えて、中小企業診断士としての知見を深めるためのオリジナル科目を配置します。

05

経験豊富な 講師陣

授業及び実習を担当する教員のほとんどが、中小企業診断士としてビジネスの現場で活躍している実務家です。科目ごとに豊富な経験と知識を併せ持った教員が授業を担当します。

06

専門実践 教育訓練給付金

本登録養成課程は、専門実践教育訓練給付金の対象講座です。詳しくは厚生労働省のホームページの確認、またはご自身の住所を管轄するハローワークへ直接お問い合わせください。

07

企業・団体との 強力な連携体制

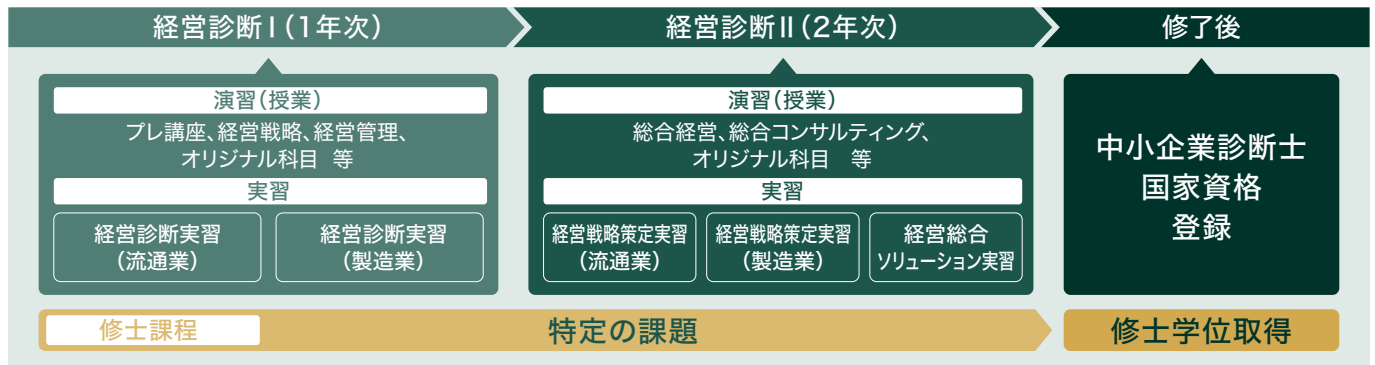
本学は、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部との業務連携協定をはじめ、一般社団法人千葉県中小企業診断士協会とも協定を結び中小企業の発展に寄与しています。

08

充実の 学習環境

市川キャンパスでは、本登録養成課程専用の共同研究室と個人専用の学習机・ロッカーを完備し授業以外でも使用できます。

中小企業経営管理コース(中小企業診断士登録養成課程)の流れ



授業科目一覧

カリキュラムは、中小企業診断士登録養成課程で定められている省令科目(演習・実習)と、本学オリジナルの科目に加え、研究指導科目で構成されています。2年間で経営診断に必要なスキルとナレッジを身に付け、実践で活躍できる診断士能力を養成します。

| 配当時期 | | 種類 | | 授業科目 | | |
|-------------------|----------------------|----|---------------------------|------------------|--------------------|---------|
| 省令 開講 必須科目 | 1年次 配当科目 | 演習 | 経営診断Ⅰ(経営戦略) | 1.経営戦略 | 2.マーケティング・営業マネジメント | |
| | | | | 3.人材マネジメント | | |
| | | | | 1.経営戦略 | 2.マーケティング・営業マネジメント | |
| | | | 経営診断Ⅰ(経営管理) | 1.生産マネジメント | 2.店舗施設マネジメント | |
| | | | | 経営診断Ⅰ(財務・情報戦略) | 1.情報化 | 2.財務・会計 |
| | | | | | 2.財務・会計 | |
| | 2年次 配当科目 | 演習 | 経営診断Ⅰ(コンサルティング・コミュニケーション) | 1.助言能力 | | |
| | | | | 経営診断Ⅰ(製造業経営診断実習) | | |
| | | 実習 | 経営診断Ⅰ(流通業経営診断実習) | | | |
| | | | | 経営診断Ⅱ(総合経営) | 1.総合経営 | |
| 経営診断Ⅱ(総合コンサルティング) | 2.流通業総合・製造業総合 | | 3.イシュー毎の実務的助言 | | | |
| | 経営診断Ⅱ(経営戦略策定実習Ⅰ) | | | | | |
| 経営診断Ⅱ(経営戦略策定実習Ⅱ) | | | | | | |
| | 経営診断Ⅱ(経営総合ソリューション実習) | | | | | |

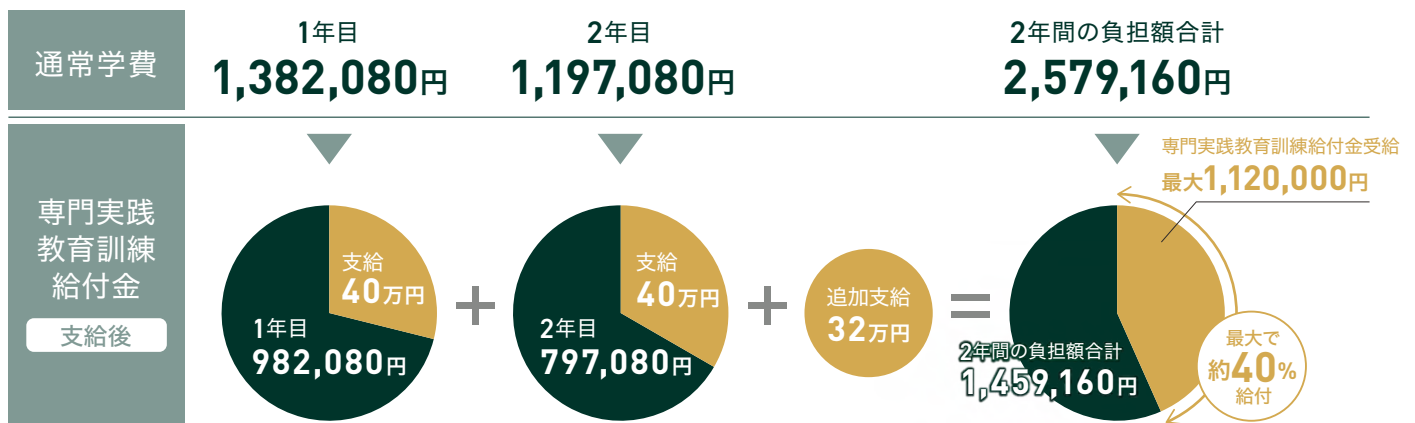
| 配当時期 | | 授業科目 | |
|---------|---------------|-------------|--|
| オリジナル科目 | 1・2年次 配当科目 | 知識確認プレ講座 | |
| | | 中間インターンシップ | |
| | | 複合プログラム | |
| | | ブラッシュアップタイム | |

| 配当時期 | | 授業科目 | |
|--------|-----|--------------|--|
| 研究指導科目 | 1年次 | 演習(ケーススタディ)Ⅰ | |
| | | 演習(ケーススタディ)Ⅱ | |
| | 2年次 | 演習(ケーススタディ)Ⅲ | |
| | | 演習(ケーススタディ)Ⅳ | |

※授業科目名は変更することがあります。

専門実践教育訓練給付金

専門実践教育訓練給付金の対象講座です。給付の申請手続きには、「受講前申請」が必要です。入学予定者および今後の受験者で入学後に専門実践教育訓練給付金の給付申請を希望される方は、厚生労働省のホームページの確認、またはご自身の住所を管轄するハローワークへ直接お問合せください。詳細については厚生労働省ホームページをご確認ください。



教員紹介 (一部紹介)



秋田 舞美 教授

- 中小企業診断士
- 秋田舞美のマーケ道 代表

中小企業診断士は大きな可能性を秘めている資格。2年間を通し、様々なバックグラウンドを持つ講師との出会いや受講者同士とのつながりは、その可能性をさらに広げてくれるかと思えます。本学の中小企業診断士登録養成課程でお待ちしています！



石井 孝昌 教授

- 中小企業診断士
- 一般社団法人千葉県中小企業診断士協会 会長
- 株式会社オリジナル・ランド 代表取締役

実務経験豊富な講師陣が熱意をもって皆さんの学習をサポートします。講義と実習を通じて、中小企業診断士として活躍するためのスキルを身に付けていただけます。また、2年間で得た仲間や講師とのネットワークは皆さんの財産になるはず。多くの修了生がそれぞれの環境で活躍しています。ぜひ共に学びましょう！



今井 和夫 教授

- 中小企業診断士
- 一般社団法人千葉県中小企業診断士協会 理事 相談役
- 一般社団法人中小企業診断協会 理事
- 今井経営事務所 代表

中小企業診断士の資格は、企業内でも独立しても、実践で役立つ大変有意義な資格です。特に養成課程では、2年間を通じて中身の濃い講義(インプット)と企業診断(アウトプット)をバランスよく体験でき、卒業後の人生を豊かなものとするでしょう。共に学び、成長していきましょう。



小野 史人 教授

- 中小企業診断士
- 株式会社ライブリッツ・アンド・カンパニー 代表取締役社長

本学の中小企業経営管理コースでは、「実践的な学び」を重視しています。単に学問的な知識だけでなく、現場での経験やノウハウも積極的に提供しています。ここは、あなたが望む自分に近づくための「訓練の場」です。仲間と切磋琢磨する2年間は、きっと貴重な時間となることでしょう。



角田 光則 教授

- 中小企業診断士
- 株式会社アップストリーム 代表取締役

現代社会はかつてないスピードで変化し続けています。中小企業を取り巻く環境もまた大きな変革の時代を迎えており、中小企業診断士にも広範な知識と深い洞察力に基づいた戦略的思考が求められています。本養成課程では千葉商科大学の理念である実学を実践するために、中小企業の内部に入り、経営者の生の声を聴き、企業の未来について提案を行う、現場主義を中心とした学びの機会を提供します。

修了生の声



加藤 亜衣さん

2020年度修了(第10期生)

本学の中小企業診断士登録養成課程を志望した理由

いくつか理由がありますが一番大きな理由は、土日中心のカリキュラムであったということです。一部平日の実習もありますが調整可能な日数でしたので、仕事との両立がしやすかったことが大きいです。また、受験を検討する際に参加した千葉商科大学大学院中小企業

診断士登録養成課程の説明会で、スタッフの対応や質問に対して率直にご回答頂いたことも安心感につながりました。実際に2年間過ごしてみて、充実した学習環境の中で自ら主体的に行動したことで、年齢や職業にとらわれない新しいネットワークができました。

受験を希望する方へ一言

2年間は案外短いものです。土日は忙しくなりますが、それと引き換えに有意義な土日が手に入ります。また千葉商科大学大学院は、世の中の流れに合わせた学習環境を用意してくれるので、充実した学生生活をおくれます。さらに、第一線で活躍されている中小企業診断士

の先生が多く、2年間かけて企業内診断士でやっていくのか、独立するのか、今後のキャリアプランについてじっくり考えることができるのも千葉商科大学大学院中小企業診断士登録養成課程の大きな魅力だと思います。本当にこの学校を選んで良かったです。



宮前 治さん

2021年度修了(第11期生)

本学の中小企業診断士登録養成課程を志望した理由

「酒蔵を閉めることになったらしい」。豪雨で被災したとある町で、ボランティア活動をしていた時の出来事です。「中小企業診断士として日本中の酒蔵を元気にしたい!」。これが、試験に合格することよりも、中小企業診断士として活動したいという想いが強くなった瞬間でした。これを機に、試験のための勉強ではなく、中小企業診断士として活動するための実践的な学習

を行える養成課程を考えるようになりました。2年にも亘りじっくりと学習・実習に取り組めること、千葉県中小企業診断士協会の先生方をはじめ、各方面でご活躍されている先生方がご指導して下さること、そして同じ志をもつ仲間と切磋琢磨できることが、志望した理由です。

受験を希望する方へ一言

中小企業診断士は、様々な経歴や経験を持った人がおり、時には得意分野を相互共有・連携しながら中小企業をご支援します。それをプレ体験できるのが、本学の養成課程です。様々な考えを持つ同期や先生とトコトン議論し、視野と見識を拡げ、中小企業診断士として羽ばたいていただきたいと思います。また、自分自身が何を目標としてどのように過ごすかによって、得られ

る成果は異なってきますので、強い意思と目的意識をもって取り組み、実力・実践力に磨きをかけて欲しいと思います。2年間、決して楽な期間ではありませんが、「診断士になりたい!」という強い想いがあれば、難しいことではありません。先輩一同みなさまを心よりお待ちしております!



若林 佑樹さん

2022年度修了(第12期生)

本学の中小企業診断士登録養成課程を志望した理由

私はこれまで、会社員、独立コンサルタントとして、大手企業向けのコンサルティング業務に従事してきましたが、地元である千葉県某所の商店街がシャッター街となった景色を目の当たりにし、故郷の活気が失われる寂しさを感じると共に、自身のコンサルティングの知見を活かし、地元、ひいては千葉県全域の活性化に貢献したいと思うようになりました。そこで、

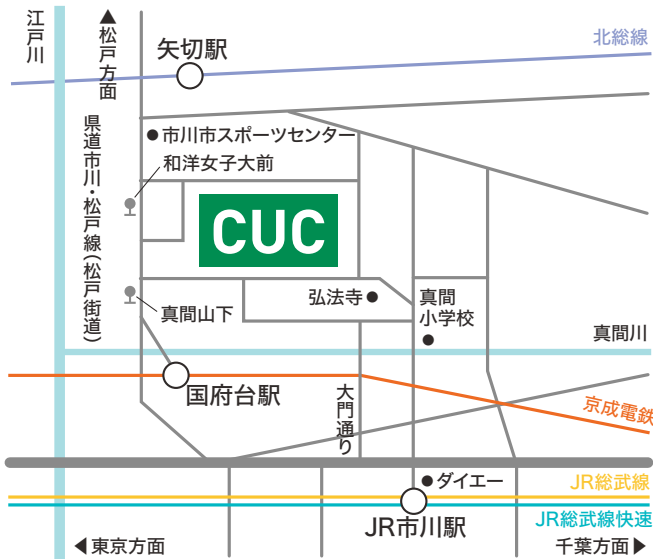
自身にはない中小企業向けのコンサルティング業務の知見や人脈、国家資格に裏付けされた信用を得たく中小企業診断士登録養成課程を志望し、中でも実務家の先生が講義をされ、千葉県の診断士協会や公的機関との親交もあり、且つ私自身が高校時代を多く過ごした地である市川市に所在する千葉商科大学を志望しました。

受験を希望する方へ一言

中小企業診断士登録養成課程に参加することは、もちろん費用も時間もかかりますし、平日に仕事やプライベートの予定をこなしながらの課題提出や実習参加が大変な時期もありました。しかしながら養成課程を修了した今振り返ってみると、実際に中小企業診断士として活躍されていらっしゃる先生方の講義が聴けたことや、まるで実務に従事している

ような感覚を得られる診断実習を経験できたこと、および養成課程の同期との繋がりができたことで、私個人としては、かけた費用や時間以上の貴重な経験ができたと思っています。中小企業診断士登録養成課程を受験される皆様には、是非ご受講いただき、私が経験したような感覚を味わっていただければ嬉しいです。

キャンパス・アクセス

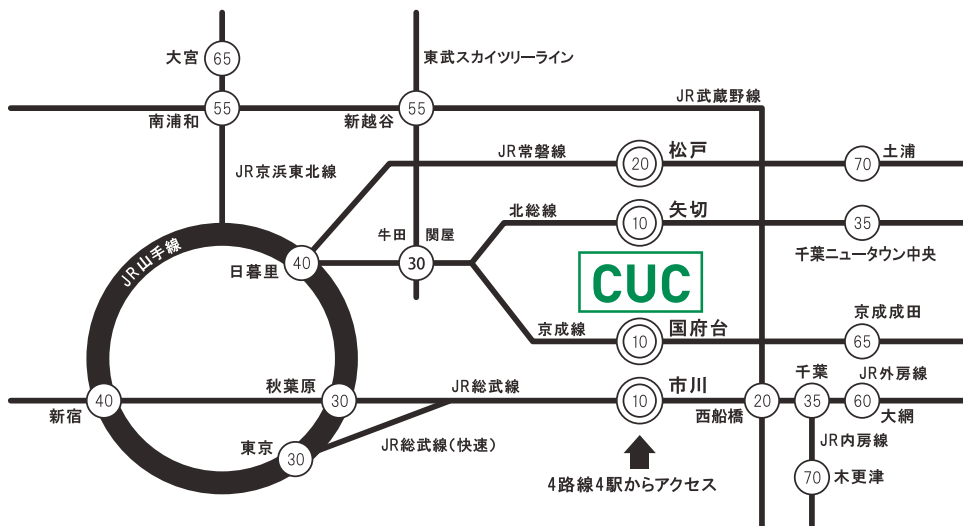


JR総武線 「市川駅」
徒歩20分または京成バス1番
乗り場から松戸方面行き10分
「和洋女子大前」で下車徒歩3分

JR常磐線 「松戸駅」
京成バス1番乗り場から市川駅方面行き20分
「和洋女子大前」で下車徒歩3分

北総線 「矢切駅」
徒歩20分または京成バス10分
「和洋女子大前」で下車徒歩3分

京成線 「国府台駅」
徒歩10分



数字は本学までのおおよその所要時間(分) ※乗り換えなどの時間は含みません。

千葉商科大学中小企業診断士登録養成
課程についての詳しい情報はこちら

千葉商科大学 中小企業診断士



CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

千葉商科大学 大学院課 中小企業診断士登録養成課程担当

〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号
TEL:047-373-9755(火曜日~日曜日 9:00~17:00)
E-mail:grad3@cuc.ac.jp